

安全データシート

版番号 8.0
改訂日 30. 08. 2021
印刷日 24. 02. 2024

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 製品識別名

製品名 : Giemsa stain solution
カタログ番号 : 12-0440
ブランド : Katayama
CAS番号 : 51811-82-6

1.2 他の特定手段

Azure mixture sicc. Giemsa stain
Giemsa stain

1.3 推奨用途及び使用上の制限

特定用途 : 研究開発での使用のみ。薬事、家庭用その他の用途には用いない。

1.4 安全データシート作成者の詳細

会社名 : Sigma-Aldrich Japan G.K.
1-8-1 Arco Tower, Shimomeguro, Meguro-ku
TOKYO 153-8927
JAPAN
東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー
担当部門：ライフサイエンス
レギュラトリーアフェアーズ
電話番号 : +81 (03) 6758-3625
FAX: : +81 (03) 6756-8300

1.5 緊急連絡電話番号

緊急連絡先TEL: : +81 (0)3 4520 9637 (CHEMTREC)

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

引火性液体 (区分2), H225
急性毒性, 経口 (区分3), H301
急性毒性, 吸入 (区分3), H331

急性毒性, 経皮 (区分3), H311

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) (区分1), 眼, 中枢神経系, H370

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

2.2 注意書きも含むGHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H225

引火性の高い液体及び蒸気。

H301 + H311 + H331

飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合や吸入した場合は有毒。

H370

臓器 (眼, 中枢神経系) の障害。

注意書き

安全対策

P210

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P233

容器を密閉しておくこと。

P240

容器を接地しアースをとること。

P241

防爆型の【電気機器 / 換気装置 / 照明機器 / 機器】を使用すること。

P242

火花を発生させない工具を使用すること。

P243

静電気放電に対する措置を講ずること。

P260

粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。

P264

取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P270

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P271

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

P280

保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

応急措置

P301 + P310

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

P303 + P361 + P353

皮膚 (又は髪) に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

P304 + P340 + P311

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

P308 + P311

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

保管

P403 + P233

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403 + P235

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405

施錠して保管すること。

2.3 他の危険有害性 - なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

別名 : Azure mixture sicc. Giemsa stain
Giemsa stain

化学特性(示性式、構造式等) : C₁₄H₁₄CIN₃S

危険有害成分

化学名	分類	含有量
メタノール		
CAS番号 67-56-1 EC番号 200-659-6 化審法官報公示番号 - 安衛法官報公示番号	Flam. Liq. 2; Acute Tox. 3; STOT SE 1; H225, H301, H331, H311, H370 濃度限界: >= 10 %: STOT SE 1, H370; 3 - < 10 %: STOT SE 2, H371;	>= 40 - < 50 %
Glycerol		
CAS番号 56-81-5 EC番号 200-289-5 化審法官報公示番号 - 安衛法官報公示番号		>= 40 - < 50 %

このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

医師に相談する。この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合

吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。医師に相談する。

皮膚に付着した場合

石けんと多量の水で洗い流す。直ちに被災者を病院に連れて行く。医師に相談する。

眼に入った場合

予防措置として、水で眼を洗浄する。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。口を水ですすぐ。医師に相談する。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。

5.2 特有の危険有害性

炭素酸化物

5.3 消防士へのアドバイス

消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

5.4 詳細情報

未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

呼吸保護（服）を着用。蒸気、ミスト、またはガスの呼吸を避ける。十分な換気を確保する。付近の発火源となるものを取り除く。安全な場所に避難する。蒸気がたまると爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。

個人保護については項目 8 を参照する。

6.2 環境に対する注意事項

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。物質が排水施設に流れ込まないようにする。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を閉じ込め、防爆型の電気掃除機または湿ったブラシにより集め、地域の規則 (項目 13 を参照) に従い廃棄するために容器に移す。

6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項

皮膚や眼への接触を避けること。蒸気やミストの吸い込みを避けること。

火災及び爆発の予防

発火源から離しておいてください - 禁煙。静電気の蓄積を防止する手段を講じる。

衛生対策

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

注意事項は項目2.2を参照。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管条件

冷所に保管。容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。

保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 3: 可燃性液体

7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

化学名	CAS番号	Value	管理濃度	出典
メタノール	67-56-1	ACL	200 ppm	作業環境評価基準、健康障害防止指針
		OEL-M	200 ppm 260 mg/m ³	日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I.化学物質の許容濃度
	備考	第2群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質 経皮吸収		

メタノール	67-56-1	TWA	200 ppm	米国。ACGIH限界閾値 (TLV)
	備考	皮膚吸収の危険性		
		STEL	250 ppm	米国。ACGIH限界閾値 (TLV)
		皮膚吸収の危険性		

生物学的職業暴露限度

化学名	CAS番号	パラメータ	Value	生物サンプル	出典
メタノール	67-56-1	メタノール	20 mg/l	尿	許容濃度等の勧告 - II.生物学的許容値
	備考	作業終了時			

8.2 曝露防止

適切な技術的管理

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

保護具

眼 / 顔面の保護

顔面シールドおよび保護メガネ NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。

皮膚及び身体の保護具

手袋を着用して取扱う。使用前に、必ず手袋を検査する。(手袋外面に触れずに) 適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。適用法令およびGLPに従い、使用後に汚染手袋を廃棄する。手を洗い、乾燥させる。

選ばれた防護手袋は、EU指令2016/425の仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。

フルコンタクト

材質: ブチルゴム

最小厚: 0.3 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Butoject® (KCL 897 / Aldrich Z677647, Size M)

飛沫への接触

材質: ニトリルゴム

最小厚: 0.4 mm

破過時間: 30 min

試験物質: Camatril? (KCL 730 / Aldrich Z677442, Size M)

データソース: KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, 電話 +49 (0)6659 87300, e-mail sales@kcl.de,

試験方法: EN374

EN374とは違った条件の下で、溶液の中、または他の物質と混ぜて使われる場合は、EC認可手袋の供給業者に問い合わせる。この勧告は単なる助言であり、予想される用途の特定状況に精通した産業衛生専門家並びに安全管理者により評価されなければならない。任意の使用方法について許可を受けていると理解すべきではない。

身体の保護

化学防護服, 難燃静電気保護服。、特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

呼吸用保護具

リスクアセスメントによりろ過式呼吸用保護具が適切であると示されている場所では、工学的制御のバックアップとして、多目的直結式 (US) またはABEK型 (EN14387) 呼吸用保護具カートリッジ付き全面形呼吸用保護具を使用する。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合、全面形送気マスクを使用する。NIOSH (US) またはCEN (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。

環境暴露の制御

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。物質が排水施設に流れ込まないようにする。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基礎物理および化学特性の情報

a) 外観	形状: 液体
b) 臭い	データなし
c) 臭いのしきい(閾)値	データなし
d) pH	データなし
e) 融点 / 凝固点	データなし
f) 沸点, 初留点及び沸騰範囲	データなし
g) 引火点	9.7 °C
h) 蒸発速度	データなし
i) 可燃性 (固体、気体)	データなし
j) 引火上限/下限または爆発限界	データなし
k) 蒸気圧	データなし
l) 蒸気密度	データなし

m) 密度	データなし
比重	データなし
n) 水溶性	データなし
o) n-オクタノール / 水分 配係数 (log 値)	データなし
p) 自然発火温度	データなし
q) 分解温度	データなし
r) 粘度	動粘度 (動粘性率) : データなし 粘度(粘性率): データなし
s) 爆発特性	爆発性として分類されていない
t) 酸化特性	なし

9.2 その他の安全情報

データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

データなし

10.2 化学的安定性

推奨保管条件下では安定。

10.3 危険有害反応可能性

データなし

10.4 避けるべき条件

熱、炎、火花。

10.5 混触危険物質

データなし

10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

混合物

急性毒性

経口: データなし

急性毒性推定値: 吸入 - 4 h - 6.23 mg/l

(計算による方法)

急性毒性推定値: 経皮 - 603.22 mg/kg

(計算による方法)

皮膚腐食性 / 刺激性

データなし

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データなし

誤えん有害性

データなし

11.2 追加情報

化学的、物理的および毒性学的性質の研究は不十分と考えられる。

成分

メタノール

急性毒性

急性毒性推定値: 経口 - 100.1 mg/kg

(専門家の判断)

備考: (EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

症状: 吐き気, 嘔吐

急性毒性推定値: 吸入 - 4 h - 3.1 mg/l

(専門家の判断)

備考: (EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

症状: 気道の刺激症状

急性毒性推定値: 経皮 - 300.1 mg/kg

(専門家の判断)

備考: (EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

皮膚腐食性 / 刺激性

皮膚 - ウサギ

結果: 皮膚刺激なし

備考: (ECHA)

乾燥作用により荒れて、あかぎれを生じる。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼 - ウサギ

結果: 眼への刺激なし

備考: (ECHA)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作試験: - モルモット

結果: 陰性

(OECD 試験ガイドライン 406)

生殖細胞変異原性

既存データによると分類基準に適合せず。

試験タイプ: Ames 試験

テストシステム: Salmonella typhimurium

結果: 陰性

試験タイプ: in vitro哺乳動物細胞遺伝子変異試験

テストシステム: チャイニーズハムスター肺細胞

結果: 陰性

方法: OECD 試験ガイドライン 474

種: マウス - オスおよびメス - 骨髄

結果：陰性

発がん性

動物実験においては発ガン効果は発現しなかった。

生殖毒性

既存データによると分類基準に適合せず。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

臓器の障害。 - 眼, 中枢神経系

備考: (EU) 1272/2008規則, Annex VI (Table 3.1/3.2)に基づく分類

急性毒性（経口） - 吐き気, 嘔吐

急性毒性（吸入） - 気道の刺激症状

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データなし

誤えん有害性

データなし

Glycerol

急性毒性

LD50 経口 - ラット - 27,200 mg/kg

備考: (ECHA)

吸入: データなし

LD50 経皮 - ウサギ - > 10,000 mg/kg

備考: (外部MSDS)

皮膚腐食性 / 刺激性

皮膚 - ウサギ

結果: 皮膚刺激なし - 24 h

備考: (ECHA)

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

眼 - ウサギ

結果: 眼への刺激なし

備考: (ECHA)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

データなし

誤えん有害性

データなし

12. 環境影響情報**12.1 生態毒性****混合物**

データなし

12.2 残留性・分解性

データなし

12.3 生体蓄積性

データなし

12.4 土壤中の移動性

データなし

12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

12.6 他の有害影響

データなし

成分**メタノール****魚毒性**流水式試験 LC50 - *Lepomis macrochirus*（ブルーギル） - 15,400.0 mg/l - 96 h
(US-EPA)**ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性**半静止試験 EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 18,260 mg/l - 96 h
(OECD 試験ガイドライン 202)**藻類に対する毒性**止水式試験 ErC50 - *Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻) - 約

	22,000.0 mg/l - 96 h (OECD 試験ガイドライン 201)
微生物毒性	止水式試験 IC50 - 活性汚泥 - > 1,000 mg/l - 3 h (OECD 試験ガイドライン 209)
Glycerol	
魚毒性	止水式試験 LC50 - <i>Oncorhynchus mykiss</i> (ニジマス) - 54,000 mg/l - 96 h 備考: (ECHA)
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	備考: データなし
藻類に対する毒性	備考: データなし

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品

アフターバーナーとスクラバーが備えられた化学焼却炉で焼却するが、この物質は引火性が高いので点火には特に注意を要する。 免許を有する廃棄物処理業者に、余剰物で再使用不可の溶液として処理を依頼する。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。

14. 輸送上の注意

14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制) : 1993 IMDG (海上規制) : 1993 IATA-DGR (航空規制) : 1993

14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制) : FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (メタノール)
 IMDG (海上規制) : FLAMMABLE LIQUID, N.O.S. (Methanol)
 IATA-DGR (航空規制) : Flammable liquid, n.o.s. (Methanol)

14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制) : 3 IMDG (海上規制) : 3 IATA-DGR (航空規制) : 3

14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制) : II IMDG (海上規制) : II IATA-DGR (航空規制) : II

14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 非該当

IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当):
非該当

IATA-DGR (航空規制): 非該当

14.6 特別の安全対策

なし

14.7 混触危険物質

15. 適用法令

15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内適用法令

消防法: 第4類:引火性液体, 第一石油類, 危険等級II, 非水溶性液体

毒物及び劇物取締法: 非該当

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防 非該当

規則:

有機溶剤中毒予防規 第二種有機溶剤等
則:

名称等を表示すべき危 法第57条 (施行令第18条) - メタノール

険物及び有害物:

名称等を通知すべき危 法第57条の2 (施行令別表第9) - メタノール

険物及び有害物:

化学物質排出把握管理 非該当

促進法:

16. その他の情報

セクション 2 および 3 において言及された H-ステートメントの全文。

H225 引火性の高い液体及び蒸気。

H301 飲み込むと有毒。

H311 皮膚に接触すると有毒。

H331 吸入すると有毒。

H370 臓器の障害。

H371 臓器の障害のおそれ。

詳細情報

Copyright 2020 Sigma-Aldrich Co. LLC. により、社内限定使用以外の本書の複写を禁じています。

本SDSは自社SDSデータベース並びに各種の出版されている情報、文献などに基づいて作成されていますが、すべての情報を網羅しているわけではありません。従って、本情報は化学物質の安全性の指標としてのみご使用ください。また、本SDSの記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。

弊社ブランド移行期のため、この文書のヘッダーやフッターのブランド名はご購入製品のブランド名と合わない場合があります。しかし、文書中の製品に関する情報は変わらず、ご注文の製品に合致します。詳細は、こちらまでお問合せください。mlsbranding@sial.com.